

- ・ユーラシア大陸を貫く回廊の要であり、アジアとヨーロッパを結びつけるゲートウェイとなるコーカサス地域の自立的発展を日本は積極的に支援
- ・地域共通の関心事項となり得る分野(水資源・防災等)への問題意識を喚起していく

・**2つの柱**

第一の柱:「**国造り**」を担う「**人造り**」支援

⇒人材育成でコーカサス地域の「**自立的な発展**」のための**国造り**を支援

第二の柱: **インフラ整備**・ビジネス環境整備支援等を通じた「**魅力あるコーカサス**」造りの支援

⇒旧ソ連時代の老朽化インフラ依存からの脱却, 制度的枠組の構築

⇒投資協定, 査証緩和等, 経済交流拡大のための環境づくり

第一の柱:「国造り」を担う「人造り」支援

1. 「法の支配」を担う人造り

・**外務省招へい(MIRAIプログラム)を活用した各国の法律を学ぶ若者の招へい**

・その他招へいの枠組による本邦での研修

2. 環境・防災を担う人造り

・自然環境保全, 救急救助技術, 水災害対策, 土砂災害対策, インフラ災害対策, 防災行政, 灌漑水管理, 土地・水資源管理の分野のJICA研修

(2018年度の実施件数: アルメニア3コース, ジョージア4コース, アゼルバイジャン1コース)

3. 経済・社会インフラを担う人造り

・運輸交通, 資源エネルギー, 経済政策, 民間セクター開発, 農業開発・農村開発, 都市・地域開発, ガバナンス, 保健医療, 社会保障の分野のJICA研修

(2018年度の実施件数: アルメニア14コース, ジョージア16コース, アゼルバイジャン13コース)

4. 日本文化紹介・日本語教育支援

国際交流基金の協力による日本語教育支援, 放送コンテンツの提供等の継続

コーカサス・イニシアティブ②

第二の柱：インフラ支援・ビジネス環境整備を通じた「魅力あるコーカサス」造りの支援

1. 地域共通の取組

- ・**数次査証導入**
- ・**投資協定/ISDS専門家による三か国でのセミナー**

2. 二国間での取組

アルメニア

- ・**投資協定**: 早期締結に向けた協力とフォローアップ(IT分野での人的交流の拡大)
- ・**防災分野**: 消防機材計画(2017年度15.4億円(無償)供与)
クライシス・コミュニケーション及び災害危機管理啓発向上プロジェクト(技プロ)
(災害発生時における関係省庁及び地方自治体間の情報共有体制の構築, メディアが的確な情報を発信するための能力強化, 及び国民の防災意識向上を図る。)
- ・**地方開発**: 地方産品と地方ブランド開発プロジェクト(フェーズ2)(技プロ)
(一村一品運動の促進を通じ, アルメニアの地方中小企業及び起業家の商品開発や事業者連携を強化し, 国内外での競争力を向上させる。)
- ・**再生可能エネルギー**: スピタク市第8学校暖房設備改善計画(2017年度草の根無償 約9百万円)

ジョージア

- ・**連結性・交通インフラ**: **東西ハイウェイ整備計画(フェーズ2)387.35億円(円借款)⇒今次訪問でEN署名**
- ・**再生可能エネルギー**: ハイブリッド車及び電気自動車96台を警察車両として内務省に供与(無償)
トビリシ国際空港及びイリア・チャフチャヴァゼ国立大学に太陽光発電システムを設置(無償)
- ・**投資協定**: **今次訪問で大枠合意を発表**

アゼルバイジャン

- ・**基盤インフラ・生活環境**: ・シマル・ガス火力発電所第2号機建設計画(2005年度292.80億円(円借款)) 2018年末頃開所式
・地方都市上下水道整備計画(2008年度328.51億円(円借款))(地方中核都市において上下水道施設の整備事業実施・維持管理体制の強化を行うことにより, 衛生的で持続可能な居住環境の整備を図る。)
- ・**投資協定**: **今次訪問で正式交渉開始を発表**